

宣言

◎全員奮起せよ◎

!!一字も見落す勿れ!!

今回小銃製造所内の本聯盟各支部の解散は間接には「俄に無自覺である」と本部の不用意であつた爲めだが、直接には南部所長の一言と「支部長戦化の爲めである、其奥には軍閥の強横なる不人情な心が潜んで居る、一つは誠首問題で、二つには労働聯盟を切り崩す爲めでありませう。

一、誠首は今年の春以來砲兵工廠で三千人の過剰人員があつて既に誠首の方針であつた、處が聯盟の運動が始まつたのと關西の労働争議の爲めに誠首する事が出来なかつた、之れは一般に公知の事實であつた、其後工廠の作業が益々減少して誠首する人員が益々多く成つた、南部少將の明言した様に小銃製造所四千人を七百人に減少しても現在の仕事に合うので、其現在の仕事も來春からは、あるかどうか陸軍では此點に悲觀して居るのだ、例へば外國の注文が英米の競争に勝つて日本に來た處が各方面に分配すれば小石川へ何程も割り當らない、又其時期は來年七月以降であらう、そうして仕事に着くのは恐らく明後年の事だらうと察する、處が其英米の競争に勝つて日本へ注文が來ると言ふ事は十中の八九迄は駄目だらうと思はれる、よしや注文が來ても來年度の間に合はない、間に合つても現在人員を此處に置く事は出来なない、そこで誠首問題は兎れる事は出来

ない、ドウセ切られるんだ男らしく切られよう。誠首問題は既に定まつた、唯定まらないのは人員の程度と時期の問題に過ぎない、其れには感があるから、日本労働聯盟からさきさきねは出来なない、そこで南部少將が來たのだ、そうして支部幹部の二三を買収にかつたと思はれる、突然支部の解散が始つたのだ労働者はすつかり其手だんにかゝつてしまつた、我等は南部少將と二三の支部長の裏切者とにドウ迄も戦はなくては成らなない。

若し切り崩しが出来ず團結して居れば同じ誠首せられるにしても一つは二萬人中一萬五千人を誠首するものを五千人位に止める事と一つは退職手當金を倍額にするか特に失業救済金を得る様に眞に諸君の生命を擁護する事が出来るのだ。

團結が崩れたから軍閥は拍子して喜んで居るだらう之れから三つの方法で労働者をイテメルんだ「一辭職を進める事」「二誠首する事」「三時間をつめて収入を減らし辭職せなければ成らん様にしかける事」之れも支部解散の今直らにはせなない、まだ何程か勇氣ある幹部や會員が熱があるからだ、熱のさめた二三月後の事だ、そうして一度には切らない、十人百人と濟し崩しに切るんだ「かためてさればさわがれるから」

其切られる人は從末助役や工場長の氣に入らないもの、運動をしたもの、幹部は勿論の事だ、其れから賃金の關係からで高給者や老年者だ

永年の勤続者だ、諸君よく考へて見給へ、小銃は十中六七は誠首するんだ、助かりたいと思つても駄目なんだ、すがりつくと云ふことばこんじょうはやめよ、目を醒ませよ。

團結が崩れてから此頃成つて此處彼所に一人づつ誠首が始まつた、そうしては聯盟本部の動靜を窺つて居る、試みて居るんだ、大くびきりのささふれな言はば斥候戦なんだ此犠牲の人達を我等は今ドウする事も出来ない涙を呑んで見て居るんだ團結の威力を失つたからだ。

此際に元の如く一齊に奮起し團結して同じ誠首せられるにしてもウンともらつてくびをさられようではないか一月や二月の給料が、ほしくてグズグズして居つて後悔をしてはならん、二三月過ぎてからは絶對絶命、ドウスル事も出来ないのだ。

◎誠首は我等が經濟的死刑の宣告なんだ、我等は誠首問題を前にしてドウ迄も勇敢に運動せなければ遂に諸君の生命を奪はれる事を絶叫する◎

二、労働者が團結の力を持つと強くなるが上役の者は其れだけ弱くなるんだ、労働者が強くなると眞實の幸福が生れる、其れだけ支配階級の豫算が狂つて來る、我等の運動は支配階級が認めないと拒絶する程の強い運動なんだ、オベツカ的にとなく當局に従つて居る程の工場々々の縦断組合では駄目だと言ふ事は、大正八年の總同盟罷業以來二ヶ年の工廠中の團體で明である我等が強い聯盟はオベツカでないから軍閥が嫌つて居る、眞實の労働組合を彼等は認めないんだ、労働組合承認運動を眞實なては成らなない。

◎我等が日本労働聯盟は労働階級の眞實の力でありドウ迄も維持せなくては成らなない事を絶叫する◎

眞實の労働組合は壓迫虐待を受け受ける事は少しも不思議がない、それらに警いて逃げ出す労働者は、人を、だしぬいて自分一人だけ良い子に成らうと言ふ(出来なない事だが) 助平野郎なんだ、労働運動の實に仇敵だ。

本郷俱樂部で此間決議した三ヶ條も陸軍大臣訪問も皆全部養成で定めた事だ、幹部を怨む筋合ではない、うらみやつは犬こじょうだからだ、此三ヶ條は幾月も半年も根強くやるべきもので認めないとやつても少しづつでも當局が發表する様に成るのは前の三ヶ條に因つて明である、つよりくつがあつて始めて弱いくつが通るんだ、要求したからとて酒の功能の様に一時的のものではない。

會員の無自覺の點は今後逐次訓練をし、本部の點には不完全の處、缺點の處は、シツカリ、お互に相談して定めようではないか。

諸君の經濟的生命的の亡びんとする此瀬戸際に、さりとて餘りに意久地が無さ過ぎる 一老ぶれ翁のもうろく、と大支部長の爲めに脆くも縮め上るとは未代迄の笑草だ、各支部の解散は一時的の方便で形式的解散だ、精神迄も解散しては居らない筈だ我等が脈々を流れる大和男兒の熱血は此れ位に屁古垂れるんでは無ひ 此際起たないものは人でない、男でない、覺悟、決心する時にせすんば大なると不利益耻辱がある。

◎我等は日本労働聯盟を死守し誠首問題の解決に奮闘する事を宣言す◎

日本労働聯盟